

大船渡発

「津波記念碑」建立

東日本大震災の教訓を千年先まで語り継ごうと、大船渡市三陸町吉浜に、吉浜中学校の生徒の発案で「津波記念碑」が建てられました。記念碑は、生徒たちが持ち寄った空き缶と古い雑誌を売って得たお金や全国からの寄付で建立されました。吉浜地区は過去の津波の経験から高台移転が徹底され、他の地域に比べて人的被害が小さかったことから『奇跡の集落』と呼ばれています。記念碑には『奇跡の集落』の一文字ずつを頭文字に据えて「きっとまた来る 大津波」「のぼれ！山へ 高台へ」などと刻まれています。(3/20 ニュースエコー)



陸前高田発

被災地を元気に



歌とダンスで被災地に元気を届けようと、陸前高田市でサントリーが企画したイベント「うたっておどってみんなでピース」が開かれました。会場には仮設住宅に住む人たちなど50人が訪れました。シンガーソングライターの白井貴子さんは盆踊りで街に元気を取り戻したいという陸前高田の人たちの願いに応え、自ら作詞・作曲した「松の花音頭」を会場とひとつになって歌いました。また、振付師の南流石(みなみ さすが)さんはダンスを披露。参加者も体を動かし、会場は笑顔に包まれていました。

(3/22 ニュース)



三陸鉄道

「復興支援ツアー」



三陸鉄道に乗り復興を応援しようというツアーが南リアス線で行われました。ツアーには16組32人が参加し、車内では大船渡市三陸町小石浜地区の名産「恋し浜ホタテ」の貝殻を使った絵馬に願い事を書き、途中下車した恋し浜駅に奉納しました。また吉浜駅ではパンケーキの手作り教室が行われ、ハムや果物を挟んで楽しみました。参加者は車窓の景色も眺めながら、3時間の旅を堪能していました。(3/22 ニュース)

山田発

まちなか再生計画

震災で被災した山田町の中心商店街の整備事業が、商業地域の再生を国が支援する制度「まちなか再生計画」に県内では初めて認定されました。再生計画は、JR陸中山田駅・東側の3.3ヘクタールの敷地に6億9000万円の費用でスーパーや飲食店などが入る共同店舗2棟を建設し、150台が収容可能な駐車場も併設します。事業費の約7割に当たる4億7000万円が復興庁の補助対象となる見通しで、来年3月の開業を目指しています。(3/24 ニュースエコー)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は大船渡「FMねまらいん」の及川透子さんが、公益社団法人「認知症の人と家族の会」岩手県支部の今野光子さんにお話を伺いました。この会では電話相談の他、『カフェ・ハナミズキの会』という場所を開設しました。自宅で介護をされている方の『勉強の場』『悩みを共有できる場』『リラックスできる場』として開設したもので、お茶を飲みながらゆっくり話をしたり勉強会を行ったりしているそうです。自宅介護で孤立しがちな人にとっては心強い場所であると共に、地域の人が地域を支える大切な場所になっているという事です。(3/25)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122